

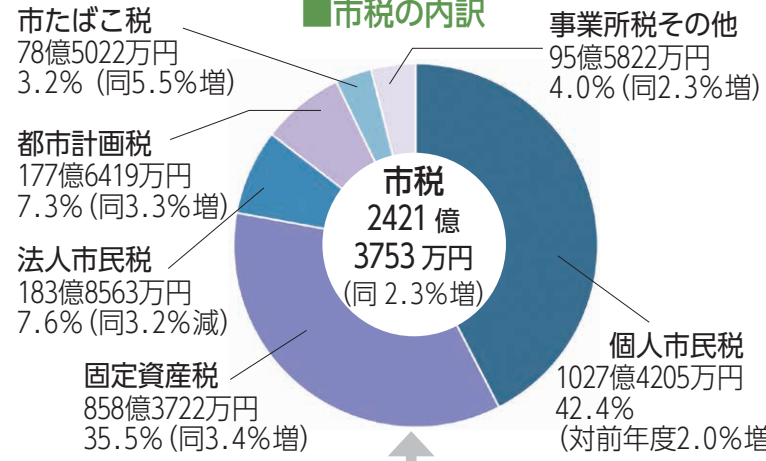
特集

令和4年度 決算報告

令和4年度の決算が10月の議会で認められました。皆さんの生活に関わりの深い事業を行う一般会計を中心に、主な取り組みなどを紹介します。
図財政課(☎504-2075、☎504-2099)

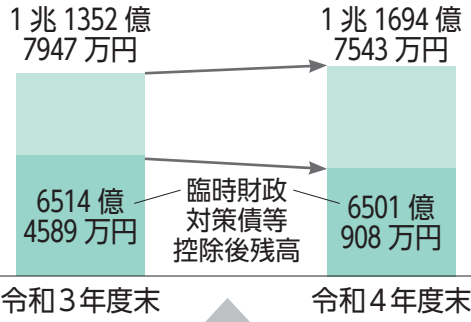
一般会計

福祉や教育、消防など、市の行政運営の基本的な経費を経理する会計です。(特別会計・企業会計を除く全ての歳入・歳出)



借入金(市債)の現在高

市債の残高は、臨時財政対策債(国が地方交付税の不足を補うため市に発行させる市債)の発行などにより、約1兆1695億円となったものの、臨時財政対策債などを除く実質的な残高は、約6501億円で対前年度約13億円減となり、着実に減少しています。



新型コロナウイルス感染症と物価高騰対策

直面する課題に最優先で取り組みました。

【令和4年度の主な施策】

新型コロナウイルス感染症対策

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業…………… 66億 3636万円
- 子育て世帯や住民税非課税世帯などへの給付金の支給…………… 47億 5756万円
- PCR検査や入院に要する経費の本市負担…………… 30億 2303万円
- 販売促進・販路拡大に取り組む中小企業やバス、路面電車などの交通事業者への支援…………… 19億 9562万円
- 学校や保育園などの感染症対策に係る保健衛生用品購入など…………… 5億 2784万円

物価高騰対策

- 厳しい経営環境にある農業者や公共交通事業者などへの支援…………… 8億 5589万円
- 社会福祉施設などの事業運営のための支援金の支給…………… 7億 3918万円
- 学校や保育園への食材購入に係る経費の措置…………… 3億 1556万円

項目	割合	金額
市税	34.6%	2421億 3753万円 (対前年度2.3%増)
国庫支出金	24.5%	1716億 2644万円 (同10.6%減)
借入金(市債)	9.9%	695億 3945万円 (同16.0%減)
地方交付税	8.4%	584億 7347万円 (同6.2%減)
その他	17.4%	1220億 786万円 (同8.9%減)

収入 6999億 9982万円 (対前年度5.9%減) ※これまでの税率の引き上げに伴う地方消費税交付金の増収分(165億2036万円)は、生活保護費などの扶助費に介護保険事業などの特別会計への繰出金などを加えた社会保障費(一般財源803億9779万円)へ充当しています

支出 6960億 8242万円 (対前年度4.9%減)



主な取り組み

- 高齢者・障害者(児)・児童・ひとり親家庭・低所得者などの福祉、地域福祉の推進
- 道路・橋りょう・河川・港湾・公園・緑地などの整備、住宅対策、都市計画
- 学校施設などの整備、学校教育などの振興、青少年の育成・成長支援
- 原爆被爆者対策、健康管理、環境保全対策、ごみ処理、ワクチン接種
- コミュニティ・スポーツ・文化などの振興、世界平和の推進
- 農林水産業・商業・観光などの振興、雇用の推進

特別会計

保険料など特定の収入を財源に特定の事業を行い、一般会計とは別に経理する会計です。市には国民健康保険や介護保険など20の特別会計があります。

特別会計	収入	支出	特別会計	収入	支出
母子父子寡婦福祉資金貸付	15億 575万円	3億 1718万円	中央卸売市場事業	30億 1357万円	30億 1357万円
物品調達	3973万円	3573万円	国民宿舍湯来ロッジ等	8114万円	8114万円
公債管理	1423億 9186万円	1423億 9186万円	駐車場事業	6億 367万円	6億 218万円
広島市民球場	20億 8415万円	20億 8415万円	開発事業	10億 6283万円	10億 6283万円
用地先行取得	2億 5074万円	2億 5074万円	市立病院機構資金貸付	110億 3030万円	110億 3030万円
西風新都	10億 7685万円	10億 7685万円	元宇品町財産区	2781万円	100万円
後期高齢者医療事業	166億 3090万円	165億 4867万円	高南財産区	71万円	2万円
介護保険事業	1032億 2203万円	1011億 7113万円	三入財産区	607万円	32万円
国民健康保険事業	1040億 5985万円	1032億 1685万円	小河内財産区	513万円	7万円
競輪事業	253億 9944万円	227億 9482万円	砂谷財産区	1088万円	20万円

企業会計

サービスの提供に対して皆さんが支払う料金などを収入として、事業を行う会計です。水道・下水道・安芸市民病院の三つの企業会計があります。

事業会計	収入	支出
水道事業会計	収入 227億 2355万円 (対前年度0.2%増)	支出 222億 1969万円 (同1.6%減)
下水道事業会計	収入 424億 9969万円 (対前年度1.1%減)	支出 420億 5171万円 (同0.3%増)
安芸市民病院事業会計	収入 21億 7171万円 (対前年度2.7%増)	支出 21億 7000万円 (同2.5%増)

令和4年度の収入-支出 39億 1740万円

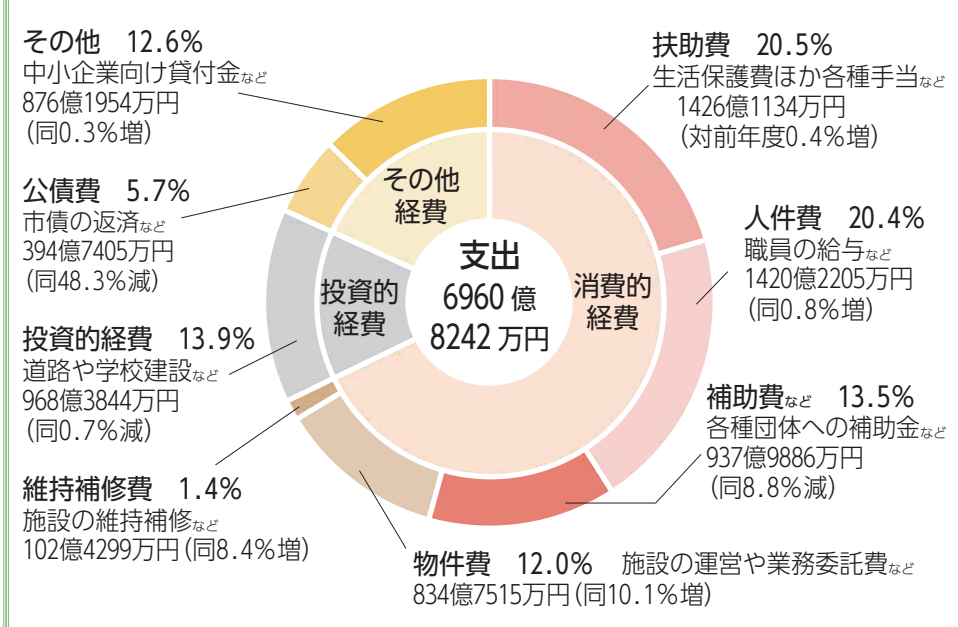
収入から支出を差し引いた39億1740万円から、令和5年度に繰り越して行う事業に充てる20億747万円を差し引いた19億993万円が、実質的な黒字となりました。

市民1人当たりになると年間約58万8968円支出

収入		支出	
項目	決算額	項目	決算額
市税	20万 4877円	福祉サービスの提供	19万 4240円
国庫支出金	14万 5216円	道路・市街地の整備、交通	9万 3231円
借入金(市債)	5万 8839円	教育の充実	8万 4806円
地方交付税	4万 9476円	保健・医療や環境対策	7万 1270円
貸付金の元利収入	3万 642円	市民参加や平和の推進	5万 189円
その他	10万 3233円	借入金(市債)の返済	3万 3577円
合計	59万 2283円	地域経済の振興、観光	1万 7758円
		消防活動	1万 1801円
		災害復旧	4,505円
		議会の運営	1,256円
		その他	2万 6335円
		合計	58万 8968円

一般会計の決算額を、市の人口118万1868人(令和5年3月末)で割って計算しました。1円未満は端数処理をしています。

性質別に見た広島市の支出



広島市のバランスシート(連結※)

バランスシート(貸借対照表)は、これまで造ってきた道路や建物などの財産(資産)と、その財源(負債など)の状況を示すものです。資産から負債の合計を差し引いたものが純資産です。4年度末では、市民1人当たりになると資産約273万円、負債約197万円、純資産約77万円です。

※一般会計・特別会計・企業会計のほか、市が出資している第三セクターなどを加えたもの

資産	3兆2236億円	負債	2兆3233億円
無形固定資産	536億円	固定負債	2兆1011億円
有形固定資産	2兆8924億円	流動負債	2222億円
現金預金、短期貸付金、財政調整基金	1116億円	純資産	9003億円
長期貸付金、減債基金	1657億円		
その他	3億円		

公共施設(ハコモノ資産)の収支状況と税負担

文化・スポーツ・福祉などのサービスを提供する施設(ハコモノ資産)の管理運営費の多くは市税で賄われています。その中から公民館などの施設の収支状況と税負担額を紹介します。

公共施設	A 支出(管理運営費)	B 収入(使用料)	C (A-B) 税負担額	D 利用者1人当たりの税負担額
公民館	26億 2396万円	1億 4684万円	24億 7712万円	911円
福祉センター	2億 24万円	279万円	1億 9745万円	454円
老人福祉センター	7625万円	1万円	7624万円	699円
老人いきいの家	1億 1056万円	2万円	1億 1054万円	784円

管理運営費(A)には、建物の新築費用や大規模改修の費用とそれらに伴う市債の償還費用は含まれていません。利用者1人当たりの税負担額(D)は、税負担額(C)を延べ利用者数で割って計算しました。1円未満は端数処理をしています。

図行政経営課(☎504-2346、☎504-2372) **市HP** ページ番号 15535